e-Golf
クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください

e-Golf に関する資料

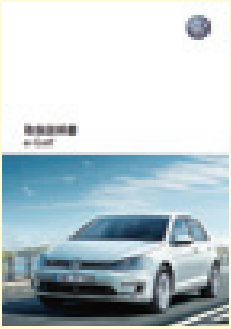
本 書

クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。
ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。
モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

QR コードについて

本書内で QR コードが表示されている機能は、動画で機能の説明を確認することができます。
QR コード対応の携帯電話から QR コードを読み取ると、各機能の動画による説明が閲覧できます。
動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。



取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。
本書と合わせて必ずお読みください。

e-Golf

クイックユーザーガイド

目　次

運転の前に

運　転

便利な機能

クイックユーザーガイド 目次

目次

外観 …… 4
内装 …… 8

1. 運転の前に 10

高電圧バッテリーを充電する …… 10
普通充電 …… 10
急速充電 …… 14
運転準備 …… 16
リモコンキー …… 16
スマートエントリー＆スタートシステム“Keyless Access” …… 17
ドア …… 18
シートの調整 …… 19
センターアームレストの調整 …… 21
ステアリングホイールの調整 …… 22
ミラーの調整 …… 23
シートベルト …… 26

2. 運 転 28

運転する …… 28
コンビネーションメーター …… 28
警告灯および表示灯 …… 32
ディスプレイ表示 / 情報プロファイル …… 36
始動・停止 …… 41
シフト操作 …… 42
e サウンド（車両接近通報装置） …… 43
回生ブレーキ …… 44
パーキングブレーキ …… 47
ライト …… 48
方向指示器 …… 50
非常点滅表示灯 …… 50
ウインドーワイパー、ウォッシャー …… 51

3. 便利な機能 52

室内装備 …… 52
フルオートエアコンディショナー …… 52
シートヒーター …… 55
パワーウインドー …… 56
チャイルドシート …… 57
エアバッグ …… 58
ルームランプ、リーディングランプ …… 59
12V ソケット …… 60
荷物の積載 …… 61
ラゲージルーム …… 61
運転支援 …… 63
インフォテイメントシステム …… 63
ドライビングプロファイル …… 70
アダプティブクルーズコントロールシステム“ACC” …… 72
レーンキープアシストシステム“Lane Assist” …… 76
渋滞時追従支援システム“Traffic Assist” …… 78
ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能） …… 79
リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能） …… 80
ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System” …… 82
プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”
（歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付） …… 84
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール） …… 86
プロアクティブ・オキュパント・プロテクション …… 87
タイヤモニタリングシステム …… 88
リヤビューカメラ“Rear Assist” …… 90

外観

ドアミラー　**24** ページ

バッテリー充電リッド（急速充電用）　**14** ページ

フロントウインドー
・フロントウインドーワイパー　**51** ページ
・アシストシステム用カメラ　**76** ページ

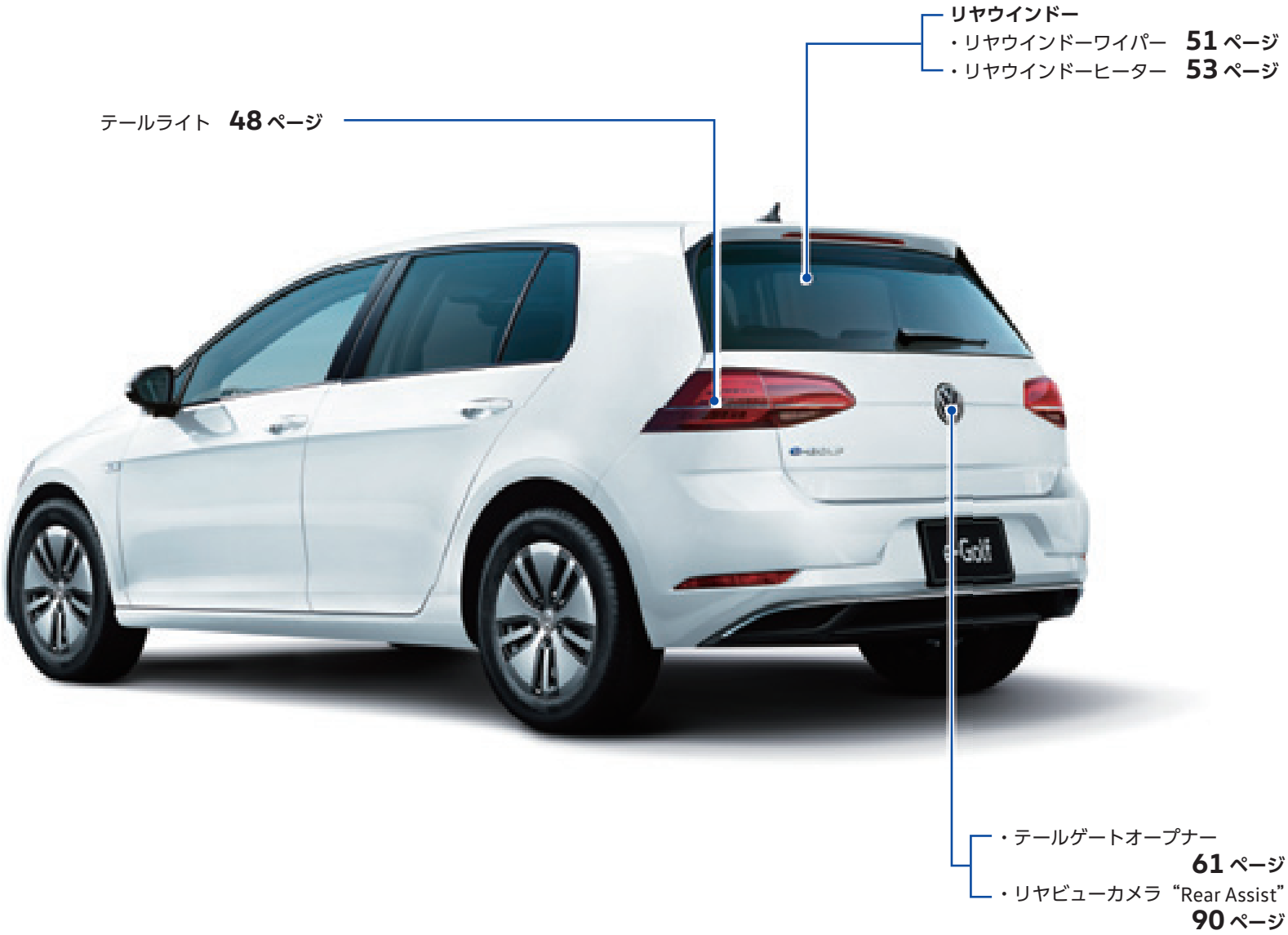
バッテリー充電リッド（普通充電用）
10 ページ

ドア
・ドア　**18** ページ
・パワーウインドー　**56** ページ
・スマートエントリー＆スタートシステム
“Keyless Access”　**17** ページ

レーダーセンサー
・アダプティブクルーズコントロールシステム“ACC”　**72** ページ
・プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”　**84** ページ

ヘッドライト　**48** ページ

目次


リヤウインドー
・リヤウインドーワイパー 51 ページ
・リヤウインドーヒーター 53 ページ
テールライト 48 ページ
・テールゲートオープナー
61 ページ
・リヤビューカメラ“Rear Assist”
90 ページ

内装

フロントシート
・マニュアルシート 19 ページ
・ヘッドレスト 20 ページ
フロントシートベルト 26 ページ
12V ソケット 60 ページ
・パーキングブレーキボタン 47 ページ
・オートホールドボタン 47 ページ

インフォテイメントシステム 63 ページ
・助手席エアバッグカットオフスイッチ警告灯 58 ページ
・非常点滅表示灯 ON/OFF ボタン 50 ページ
レバー
・ヘッドライト 48 ページ
・方向指示器 50 ページ
・ドライバーアシストシステム用ボタン 37 ページ
コンビネーションメーター 28 ページ
・センターロッキングスイッチ 18 ページ
・ドアミラー用回転式ノブ 24 ページ
レバー
・ウインドーワイパー・ウォッシャー 51 ページ
ライトスイッチ 48 ページ
マルチファンクションステアリングホイール
・マルチファンクションインジケーター 37 ページ
・アダプティブクルーズコントロールシステム "ACC" 72 ページ
ステアリングホイール調整用レバー 22 ページ
スタート / ストップボタン 41 ページ
パワーウインドースイッチ 56 ページ
・ドライビングプロファイル機能ボタン 70 ページ
・e サウンドボタン 43 ページ
セレクターレバー 42 ページ
フルオートエアコンディショナー 52 ページ

運転の前に

高電圧バッテリーを充電する

普通充電

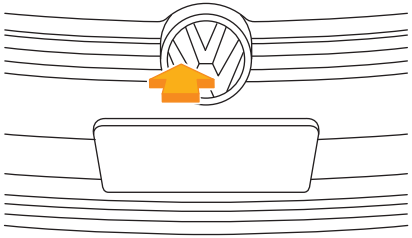
車載の充電ケーブルを交流 200V 電源につないで充電します。
即時充電するだけでなく、タイマー機能で充電時間を設定する予約充電も可能です。
充電ポートは車両前側の VW エンブレム部にあります。

充電前に、下記の状態になっていることを確認してください。
・イグニッションスイッチが“OFF”
・セレクターレバーが“P”
・パーキングブレーキがかかっている

操作手順

1. **キー、またはセンターロッキングスイッチで車両を解錠します。**
2. **バッテリー充電リッドを開きます。**

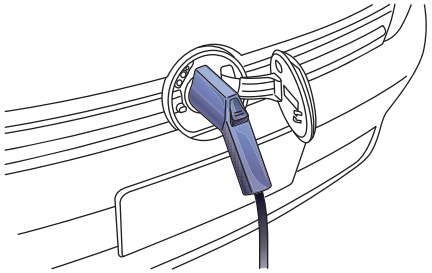
   バッテリー充電リッド（VW エンブレム）の左側を押すと右側に開きます。



Q0230

3. **充電プラグを充電ポートに差し込みます。**

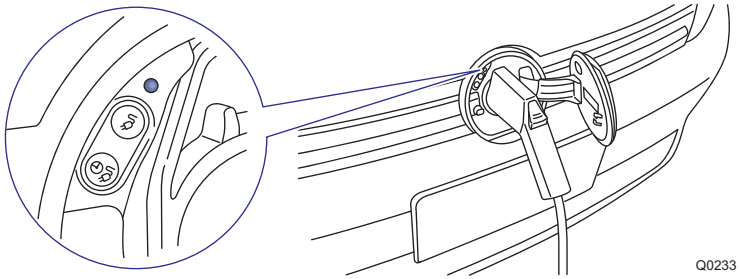
   「カチッ」と音がするまで差し込みます。



Q0231

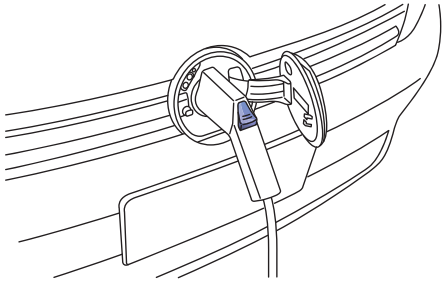
4. **インジケーターの表示を確認します。**

インジケーター	状　態
黄色で点灯	充電プラグが充電ポートに差し込まれています。 電源が供給されていない場合は、そのまま点灯し続けます。
緑色で光度を変えながら点灯	充電中
緑色で点滅	予約充電待機中
緑色で完全に点灯	充電完了



Q0233

5 解除ボタンを押して、充電プラグを取り外します。



Q0232

6 バッテリー充電リッドを閉じます。

充電レベルの確認

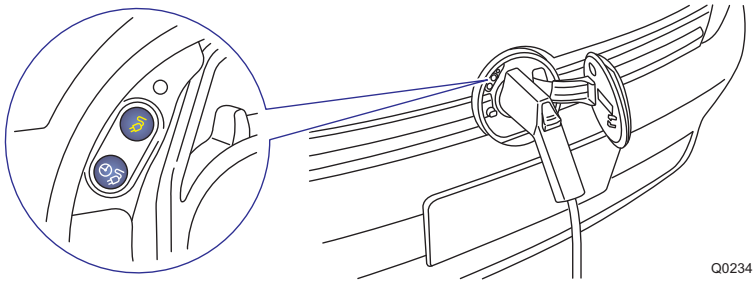
コンビネーションメーターで充電レベルと残りの充電時間を確認することができます。

即時充電

即時充電ボタンが点灯しているとき（予約充電の設定をしていない場合）に充電プラグを充電ポートに差し込むと即時充電が開始されます。

充電中でも、即時充電ボタンを押すと、充電を中断できます。

予約充電の設定をしている場合に即時充電をする時は、即時充電ボタンを押します。予約充電に戻す時は予約充電ボタンを押します。



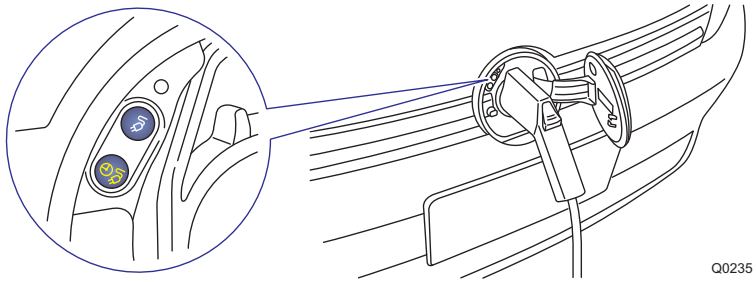
Q0234

予約充電

予約充電のタイマー機能を使い、夜間の電気料金が安い時間帯に充電することで、充電に要する電気代を抑えることができます。
電気料金については、各電力会社にご確認ください。

予約充電の設定は、インフォテイメントシステム、または“Volkswagen Car-Net e-Remote”で行います。

予約充電の設定をしている場合は、予約充電ボタンが点灯しています。充電プラグを充電ポートに差し込むと予約充電が開始し、設定に応じて充電されます。



Q0235

急速充電

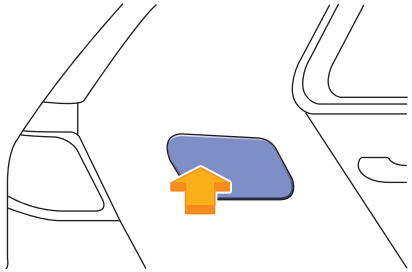
CHAdeMO 方式の急速充電器を、急速充電用ポートにつないで充電します。
約 35 分で 80%まで充電できます。
充電ポートは車両の右側後方にあります。

充電前に、下記の状態になっていることを確認してください。
・イグニッションスイッチが“OFF“
・セレクターレバーが“P“
・パーキングブレーキがかかっている

操作手順

1. **キー、またはセンターロッキングスイッチで車両を解錠します。**
2. **バッテリー充電リッドを開きます。**

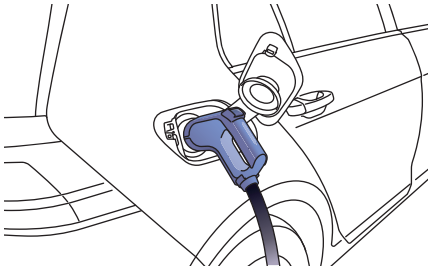
   バッテリー充電リッドの後側を押して、手前に開きます。



Q0045

3. **充電プラグを充電ポートに差し込みます。**

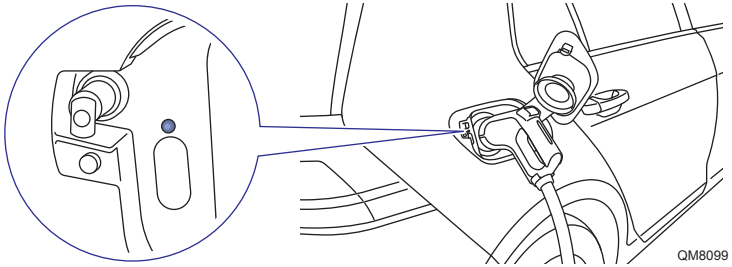
   「カチッ」と音がするまで差し込みます。



QM8098

4. **インジケーターの表示を確認します。**

インジケーター	状態
黄色で点灯	充電プラグが充電ポートに差し込まれています。 電源が供給されていない場合は、そのまま点灯し続けます。
緑色で光度を変えながら点灯	充電中
緑色で完全に点灯	充電完了



QM8099

5. **充電が完了したら、充電プラグを取り外します。**
6. **バッテリー充電リッドを閉じます。**

充電レベルの確認

コンビネーションメーターで充電レベルと残りの充電時間を確認することができます。

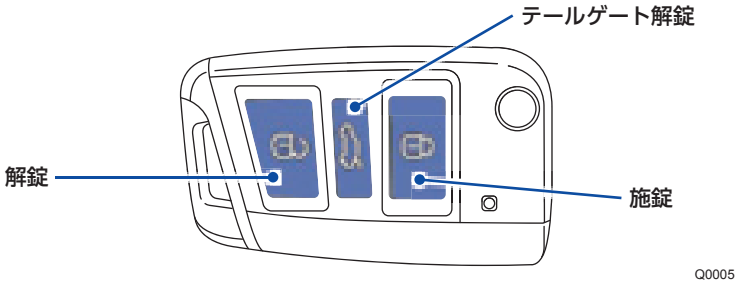
アドバイス

急速充電器の操作方法にしたがって、充電をしてください。
急速充電器の機種により、充電時間は異なる場合があります。

運転準備

リモコンキー

リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。

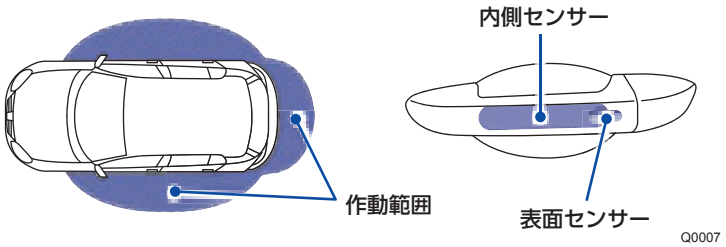


- 施錠ボタン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
- 解錠ボタン‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ すべてのドアおよびテールゲートを解錠します。
- テールゲート解錠ボタン‥ テールゲートのみ解錠します。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

スマートエントリー&スタートシステム“Keyless Access”

キーが作動範囲にあるとき、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー部分に触れると、ドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



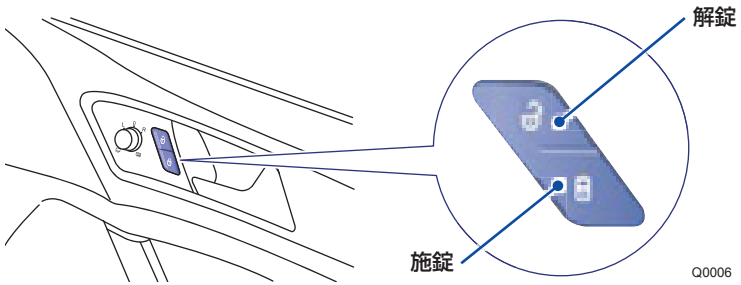
- 表面センサー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 触れると、全てのドアおよびテールゲートが施錠します。
- 内側センサー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 触れると、全てのドアおよびテールゲートが解錠します。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。
キーを車内に残した状態でドアハンドル表面のセンサーに触れると、方向指示器が 4 回点滅し、ドアを施錠できません。

ドア

センターロッキング

車内からは、運転席のドアについているセンターロッキングスイッチで施錠、解錠ができます。

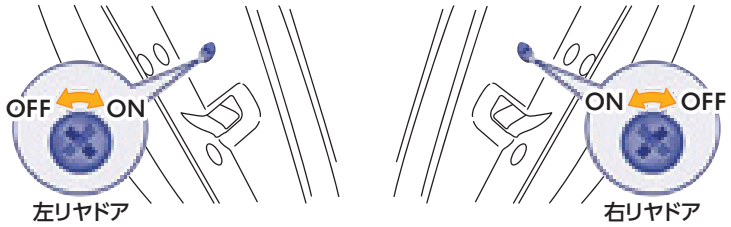


自動施錠（オートロック）

15km/h 以上で走行すると、自動的に施錠されます。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

チャイルドプルーフロック

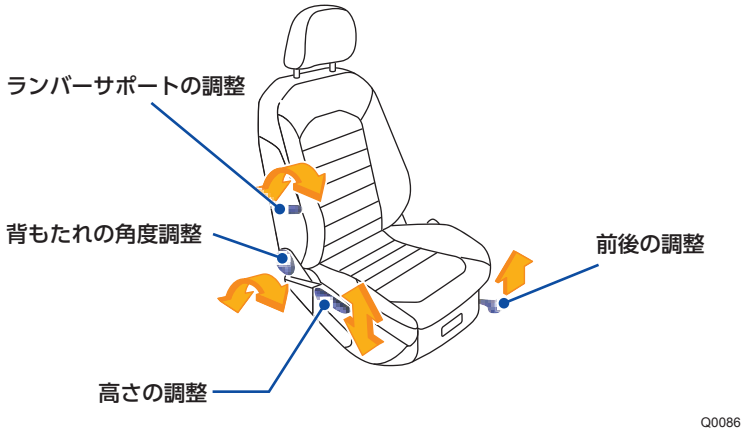
お子様などが誤ってドアを開けないようにする機能です。ON になっているときには、リヤドアを車内から開けることができません。ON/OFF を切り替えるには、キーを差し込んで回します。



シートの調整

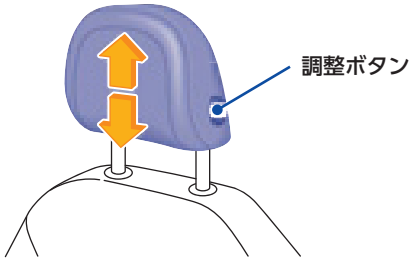
マニュアルシートの調整

シートの高さ、前後、背もたれの角度、ランバーサポートを調整することができます。



ヘッドレストの高さ調整（フロントシート）

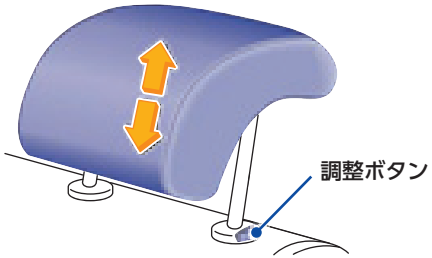
高さを調整することができます。
調整ボタンを押しながら上げる、または下げてください。



Q0012

ヘッドレストの高さ調整（リヤシート）

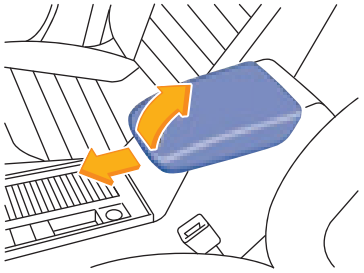
高さを調整することができます。
そのまま引き上げます。下げる場合は調整ボタンを押しながら、下げてください。



センターアームレストの調整

フロントセンターアームレスト

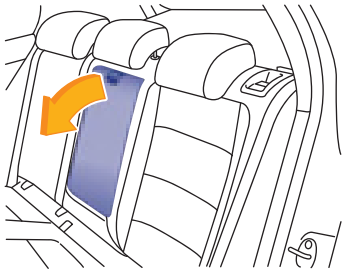
角度および前後位置を調整することができます。
上げるときは、先端を持ち上げます。
下げるときは、いったん上まで引き上げてから下げます。
前後位置を調整するときは、前方または後方にロックするまで動かします。



Q0010

リヤセンターアームレスト

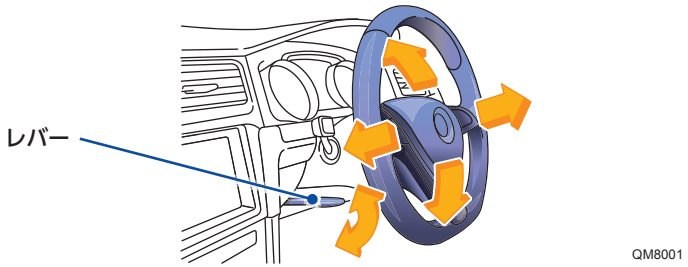
バンドを引いて、前に倒して使います。



Q0011

ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さ、前後位置を調整することができます。



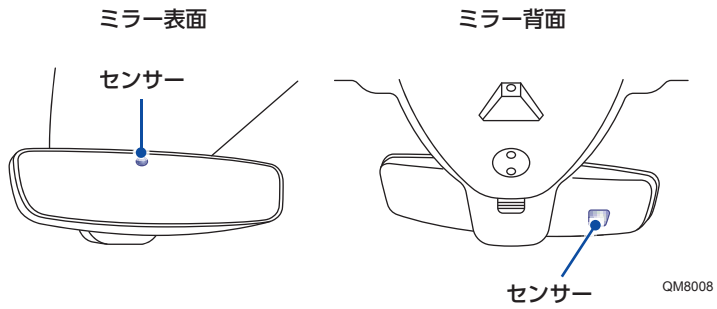
操作手順

1. レバーを下げます。
2. ステアリングホイールを前後または上下に動かして、位置を調整します。
3. 調整した位置を保持し、レバーを上げて固定します。

ミラーの調整

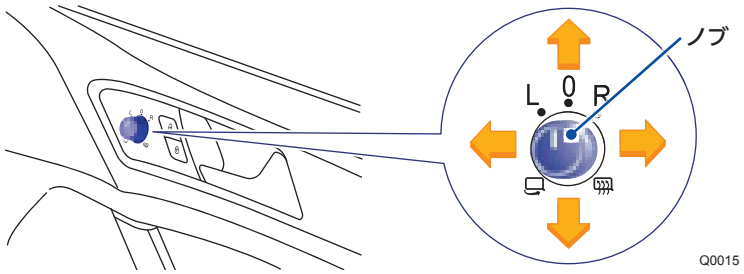
自動防眩ルームミラーの調整

センサーにより周囲の明るさを検知し、後続車のヘッドライトがまぶしいときは自動的に明るさを抑えます。
ルームミラーのスイッチを押すと、自動防眩機能の ON/OFF を切り替えることができます。
・ON ‥‥表示灯が点灯し、自動で防眩機能を切り替えます。
・OFF ‥‥表示灯が消灯し、防眩機能は常時 OFF になります。
セレクターレバーを“R”にシフトするか、ルームランプ / リーディングランプを ON にすると、自動的に OFF になります。“R”以外にシフトするか、ルームランプ / リーディングランプが OFF になると、自動的に ON に戻ります。



ドアミラーの調整

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブで調整できます。



操作手順

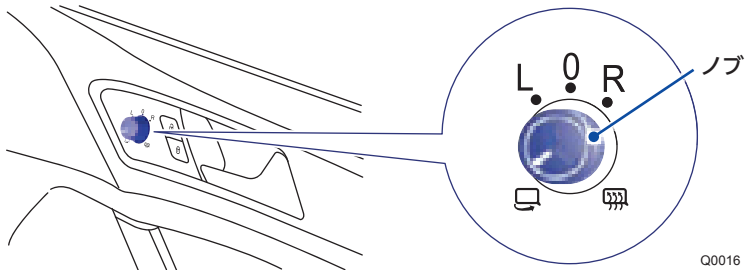
1. ノブを回して、“R”（運転席側）または“L”（助手席側）に合わせます。
2. ノブを上下、左右に動かして、ドアミラーを調整します。
3. ドアミラーの角度を調整した後、ノブを回して、“0”に合わせます。

アドバイス

運転席側を調整すると、助手席側も同時に調整されます。助手席側を調整する場合は、先に運転席側を調整してください。
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

ドアミラーの格納

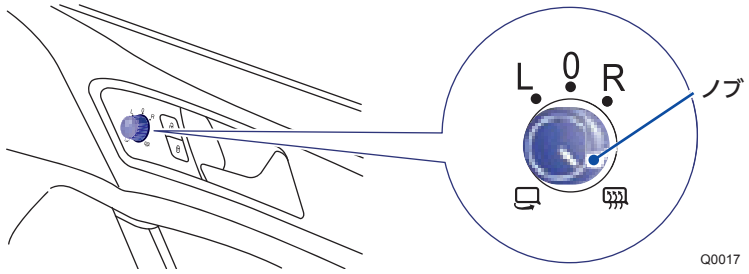
運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを に合わせると、自動的に格納されます。他の位置にすると復帰します。



車両をリモコンキー、またはスマートエントリー＆スタートシステム“Keyless Access”で施錠することでも自動的に格納されます（イグニッションスイッチを“ON”にすると復帰）。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

ドアミラーヒーター

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを に合わせると、外気温度が 20℃以下の場合にドアミラーヒーターが作動します。

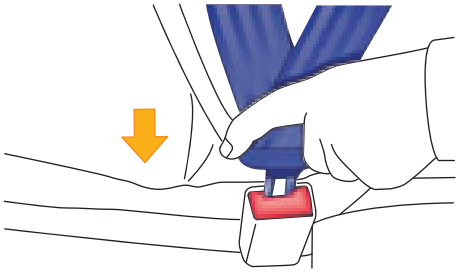


シートベルト

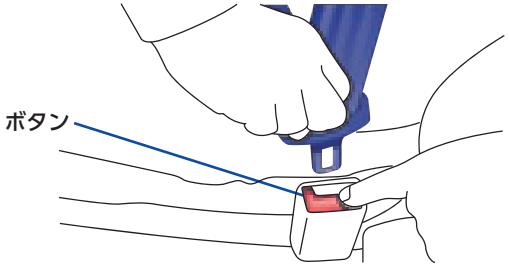
全席に 3 点式シートベルトが装備されています。

シートベルトの取り付け、取り外し

バックルに差し込むと自動的に固定されます。

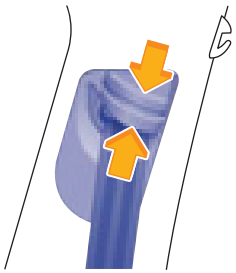


バックルのボタンを押すと外れます。



シートベルトの高さ調整（フロントシート）

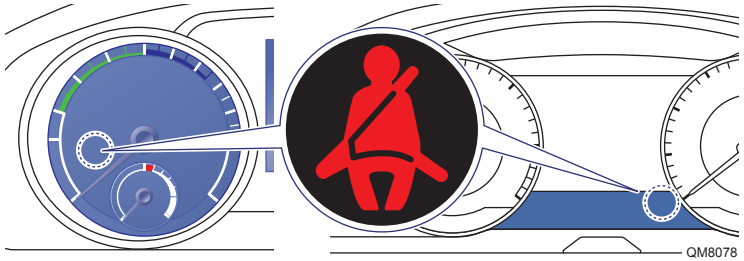
ベルトガイドをつまんで高さを調整してください。



Q0018

シートベルト警告灯

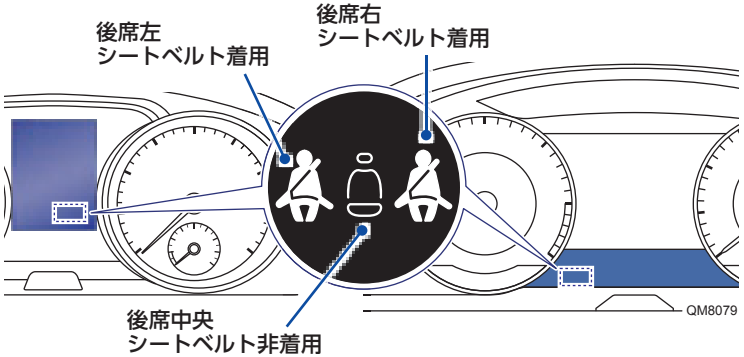
運転席、助手席の乗員がシートベルトを着用せずに 25km/h 以上で走行すると、コンビネーションメーター内の警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。



助手席の上に物が置いてある場合も、乗員がいると判断し、警告灯が点灯します。
助手席に置いてある物を別の場所に置き直すか、シートベルトで固定してください。

後席シートベルト着用表示

イグニッションスイッチを ON にしたあと、後部座席でシートベルトが着用されているかどうか、コンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。



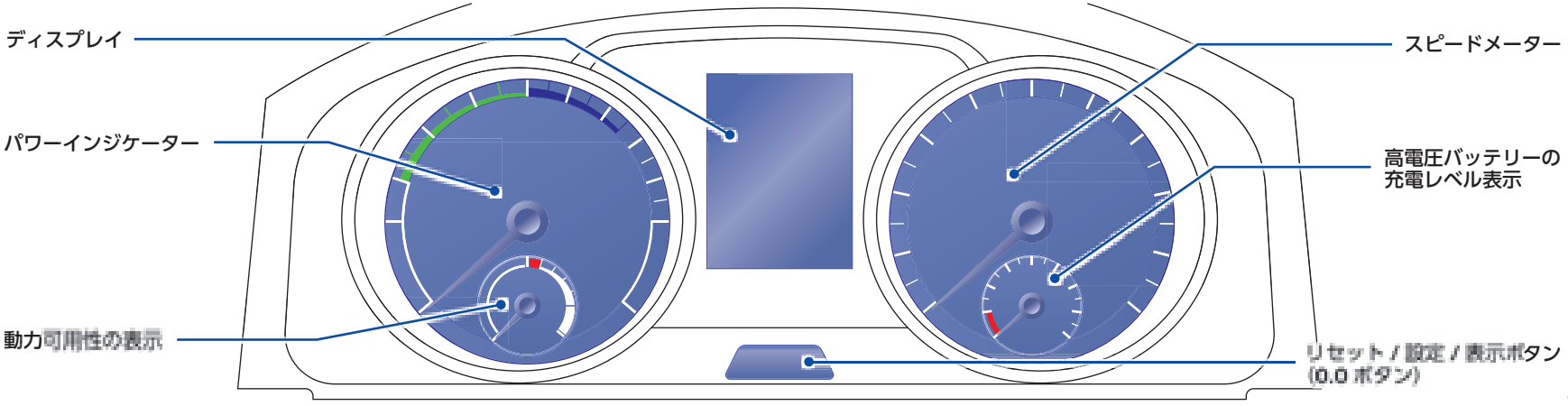
走行中に後席シートベルトが外された場合、この後席シートベルト着用表示が点滅します。車速が 25km/h を超えるとさらに警告音が鳴ります。

運 転

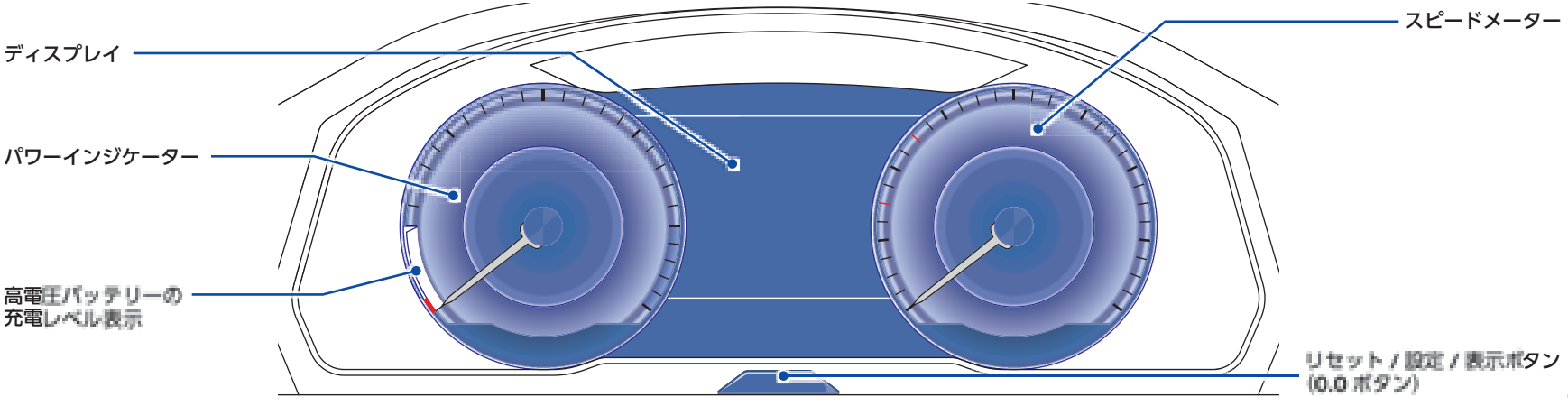
運転する

コンビネーションメーター

アナログメーター



デジタルメータークラスター“Active Info Display”



時計の設定方法

操作手順

1. すべてのドアを閉めます。
2. ディスプレイに「時間」と表示されるまで **0.0** ボタンを押し続けます。
3. 時表示がハイライトされますので、時を変更する場合は **0.0** ボタンを押して正しい時を設定してください。
4. 分表示がハイライトされるまで待ちます。分を変更する場合は **0.0** ボタンを押して正しい分を設定してください。
5. **0.0** ボタンから手を離したまま待つと、ハイライト表示が終了し設定が完了します。

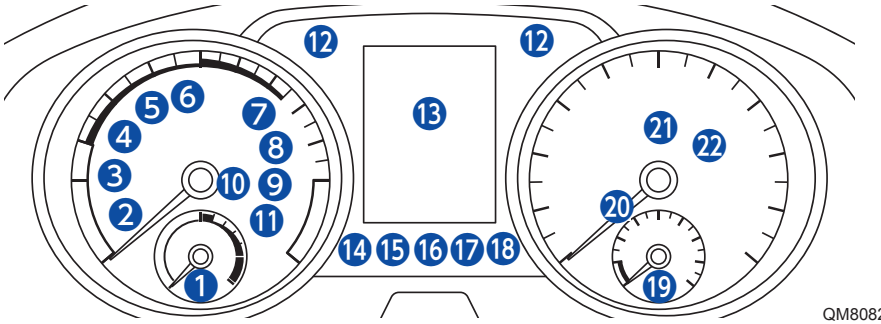
時計はインフォテイメントシステムでも設定することができます。

走行距離表示

トリップメーターは、前回リセット以降の走行距離を表示します。
0.0 ボタンを短く押すと、トリップメーターがリセットされます。

警告灯および表示灯

アナログメーター

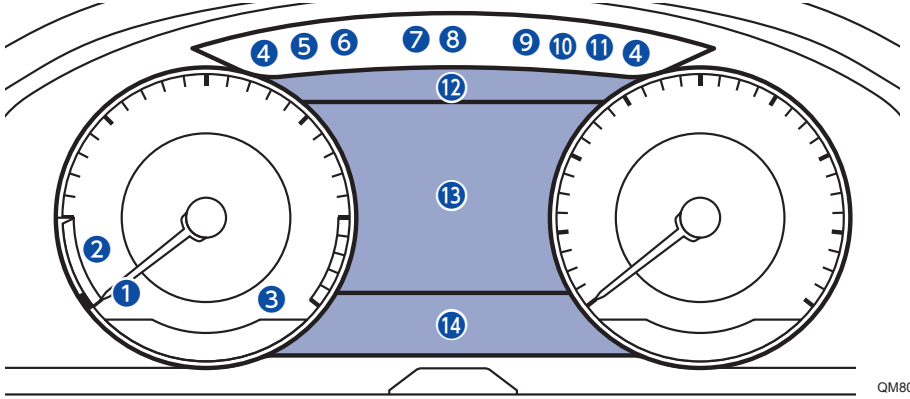


QM8082

位置	シンボル	意味
1		出力制限
2		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
3		前席シートベルト非着用
4		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
5		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
5		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
6	EPC	モーター制御システム故障
7		点灯：ESC 故障、12V バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
8	ABS	ABS 故障、回生システム故障
9		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
10	OFF	ASR OFF
11		ハイビーム点灯
12		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
13		高電圧冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
13		e サウンド故障
13		電気システム故障
13		電気システム故障
13		プリクラッシュブレーキシステム接近警告
13		12V エネルギーシステム故障

位置	シンボル	意味
13		12V エネルギーシステム故障
13		エレクトロニックパーキングブレーキ故障
13		ライトのバルブ切れ
13		ウインドーウォッシャー液量少
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動停止
13	OFF	プリクラッシュブレーキシステム OFF
13		ドア / テールゲート / ボンネットが開いています
13		後席シートベルト非着用
13		後席シートベルト着用
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）先行車未検知
13		白色表示：アダプティブクルーズコントロール（ACC）先行車検知 灰色表示：アダプティブクルーズコントロール（ACC）非作動
13		サービスリマインダー、点検時期
13		外気温度 4℃以下
13		充電プラグ接続中
13		取扱説明書を確認してください
14	READY	走行可能状態
15		エレクトロニックパーキングブレーキ作動中
15		オートホールド作動中
16		ディスプレイの表示を確認してください
16		ディスプレイの表示を確認してください
17		点灯：クルーズコントロールシステム（CCS）/ スピードリミッター ON、アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動中 点滅：スピードリミッター設定速度超過
18		レーンキープアシストシステム待機
18		レーンキープアシストシステム作動中
19		点灯：高電圧バッテリー充電レベル低 点滅：高電圧バッテリー充電中
20		ブレーキパッド摩耗
21		リヤフォグランプ点灯
22		ブレーキペダルを踏んでください
22		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください

Active Info Display



QM8083

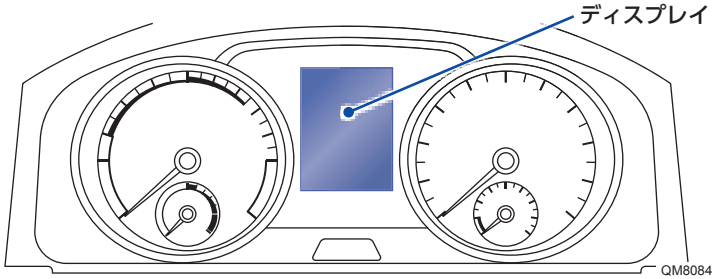
位置	シンボル	意味
1	READY	走行可能状態
2		高電圧バッテリー充電レベル
3	D	回生レベル
4		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
5		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
6		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
6		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可／ロック不可
7		エレクトロニックパーキングブレーキ作動中
7		オートホールド作動中
8		ディスプレイの表示を確認してください
8		ディスプレイの表示を確認してください
9		点灯：ESC 故障、12V バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
10	ABS	ABS 故障、回生システム故障
11		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
12		外気温度 4℃以下
13		高電圧冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
13		e サウンド故障
13		電気システム故障
13		電気システム故障

位置	シンボル	意味
13		プリクラッシュブレーキシステム接近警告
13		12V エネルギーシステム故障
13		12V エネルギーシステム故障
13		エレクトロニックパーキングブレーキ故障
13		ライトのバルブ切れ
13		ウインドーウォッシャー液量少
13		ドア / テールゲート / ボンネットが開いています
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動
13	LIM	スピードリミッター作動
13		サービスリマインダー、点検時期
13		充電プラグ接続中
13		取扱説明書を確認してください
14		前席シートベルト非着用
14		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
14	EPC	モーター制御システム故障
14	OFF	ASR OFF
14		ハイビーム点灯
14	OFF	プリクラッシュブレーキシステム OFF
14		後席シートベルト非着用
14		後席シートベルト着用
14		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動中先行車未検知
14		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動中先行車検知
14		レーンキープアシストシステム待機
14		レーンキープアシストシステム作動中
14		ブレーキパッド摩耗
14		リヤフォグランプ点灯
14		ブレーキペダルを踏んでください
14		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください

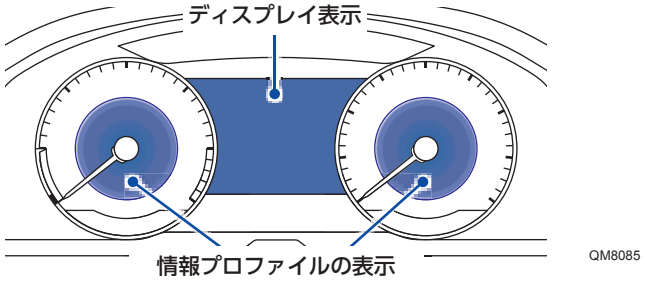
ディスプレイ表示 / 情報プロファイル

コンビネーションメーターのディスプレイで様々なドライビングデータを確認することができます。

アナログメーター

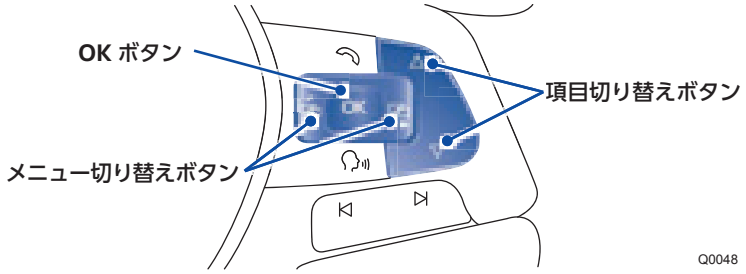


Active Info Display



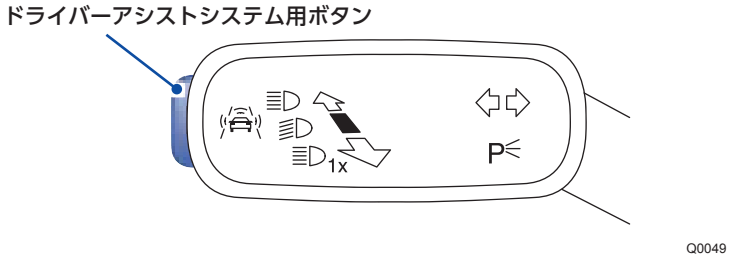
マルチファンクションステアリングホイールでの操作

ディスプレイの表示は、マルチファンクションステアリングホイール右側のボタンで操作します。



ドライバーアシストシステム用ボタン

ステアリングホイール左側の方向指示器レバーについているボタンでアシストシステムのメニューを呼び出すことができます。



メニューと表示項目

メニュー	項　目
走行データ （マルチファンクションインジケーター）	**燃費** 現在の電力消費率を表示します。
	平均燃費 ※ 平均電力消費率を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
	走行可能距離 現在の走行可能な距離を表示します。
	走行時間 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの経過時間を表示します。
	走行距離 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの走行距離を表示します。
	平均車速 ※ 平均車速を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
	車速 現在の車速を表示します。
	警告速度 警告速度の設定をすることができます。
アシストシステム	以下の ON/OFF を切り替えることができます。 • レーンキープアシストシステム（Lane Assist） • プリクラッシュブレーキシステム（Front Assist） • ブラインドスポット • リヤトラフィックアラート
	ACC および Lane Assist の作動状態を表示します。
ナビゲーション	オーディオ / ナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。
オーディオ	
電話	
車両ステータス	警告 / 情報テキストを表示します。

メニュー	項　目
情報プロファイル表示 （Active Info Display のみ）	**クラシック** 左右丸型メーター共に従来のコンビネーションメーターと同様の表示になります。
	効率 左側丸型メーター：現在の電力消費率がグラフィック表示、および平均電力消費率がデジタル表示されます。
	ナビゲーション 左側丸型メーター：ルート案内が作動している場合は目的地までの残存距離および到着時刻が表示され、ルート案内が作動していない場合は海抜が表示されます。 右側丸型メーター：ルート案内が作動している場合は矢印ナビが表示され、ルート案内が作動していない場合はコンパスが表示されます。
	ドライバーアシストシステム 左側丸型メーター：各種ドライバーアシストシステムがグラフィック表示される、または走行時間がデジタル表示されます。 右側丸型メーター：矢印ナビが表示される、またはコンパスが表示されます。

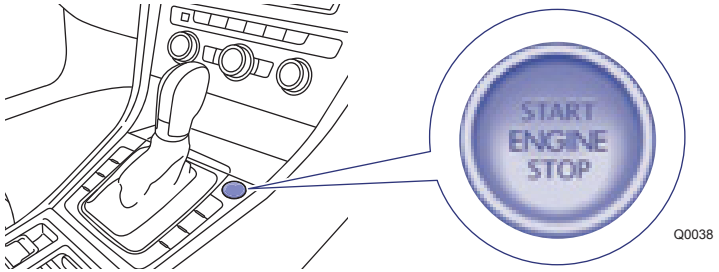
※：以下の 3 種類のメモリーがあり、OK ボタンで表示を切り替えることができます。

- スタート後 ･････ イグニッションスイッチを ON にしてからのデータを表示します。イグニッションスイッチ OFF 後、約 2 時間経過するとリセットされます。
- 充電後 ････････ 前回充電以降のデータを表示します。充電するとリセットされます。
- 累計走行データ ･･ 長期間のデータを表示します。積算での走行時間が 20 時間、もしくは 100 時間、または走行距離が 2,000km、もしくは 10,000km に達する毎にリセットされます。（仕様によって異なります）

始動・停止

スタート / ストップボタン

センターコンソールのスタート / ストップボタンで、始動（走行可能状態にする）、停止（走行可能状態を終了する）します。

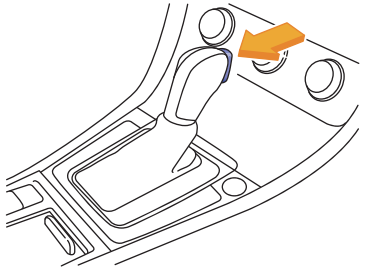


目　的	操　作
始動 （走行可能状態にする）	ブレーキペダルを踏んだまま、スタート / ストップボタンを短く押します。 走行可能状態になるとコンビネーションメーターの READY が点灯し、パワーインジケーターが“0”位置になります。
停止 （走行可能状態を終了する）	スタート / ストップボタンを短く押します。
イグニッションスイッチ ON/OFF の切り替え	ブレーキペダルを踏まずに、スタート / ストップボタンを短く押します。

シフト操作

セレクターレバーの操作

セレクターレバーを“P”の位置からシフトする場合は、ブレーキペダルを踏み、ロックボタンを押しながらシフトします。



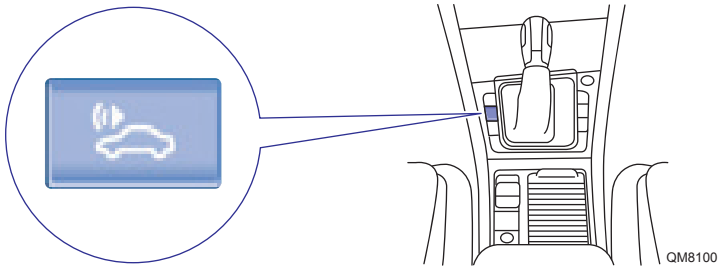
“D”と“B”を切り替えるには、セレクターレバーを後方に引きます。セレクターレバーは自動的に元の位置に戻ります。

セレクターレバーの位置	働き
P	駐車、および始動するとき
R	後退させるとき
N	駆動力は伝達されません
D/B	通常走行（オートマチックモード） D：ノーマルプログラム B：非常に大きいエネルギーの回生（回生レベル 4）
▽	“D”と“B”を切り替えるとき
＋　－	回生レベルを切り替えるとき

e サウンド（車両接近通報装置）

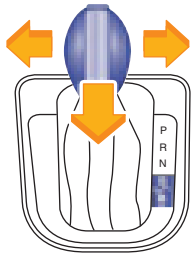
e サウンドは、歩行者に電気自動車の接近を警告する電子的モーター音です。

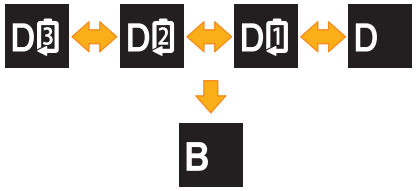
始動時、e サウンドは自動的に ON になります。
セレクターレバー横にある e サウンドボタンで、ON/OFF を切り替えることができます。ON/OFF を切り替えた場合、コンビネーションメーターのディスプレイにメッセージが表示されます。



回生ブレーキ

e-Golf は、ブレーキエネルギーを回収し、電力として高電圧バッテリーに充電します。このとき電気モーターは発電機として働き、ブレーキ効果を発生させます。
このブレーキエネルギーの回生レベルは 4 種類あり、走行状態に応じて変えることができます。
回生レベル 1 ～ 3 は、セレクターレバーを“D”の位置から左右に操作して切り替えます。回生レベル 4 にするには、セレクターレバーを“D”の位置から後方に引いて“B”の位置にします。
回生レベルの状態は、コンビネーションメーターに表示されます。





QM8077

“B”の位置から“D”の位置に戻すには、再びセレクターレバーを後方に引きます。

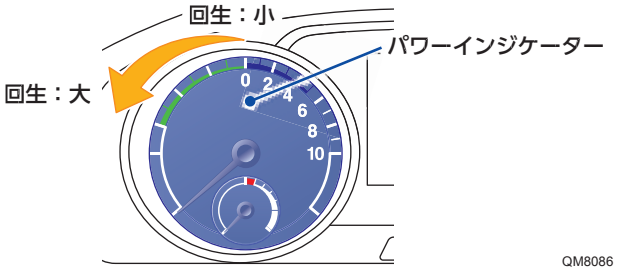
アドバイス

急な下り坂など強いブレーキを必要とするときは、高い回生レベルを選択してください。
回生ブレーキを有効に使うと、航続距離を延ばすことができます。

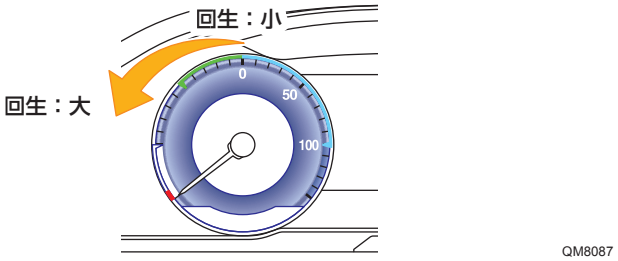
セレクターレバーの選択位置	アクセルペダルもブレーキペダルも踏んでいない状態でのブレーキ回生状態
D	ブレーキエネルギー回生は行われず、車両は惰性で走行します。 ブレーキペダルを踏んだ時のみ、回生を行います。
D1	" 回生レベル 1" 小さな制動力が発生し、エネルギーを回生します。
D2	" 回生レベル 2" 中程度の制動力が発生し、エネルギーを回生します。
D3	" 回生レベル 3" 大きな制動力が発生し、エネルギーを回生します。
B	" 回生レベル 4" 非常に大きな制動力が発生し、エネルギーを回生します。

ブレーキエネルギーの回生レベルに応じて、パワーインジケーターの針が“0”から反時計回りに振れます。
緑色の CHARGE の下限が、回生ブレーキで得られる最大の制動力です。これより大きな制動力が必要な場合、ブレーキペダルを踏み込んで減速する必要があります。
高電圧バッテリーが 100%充電されている状態ではブレーキエネルギーを回生できません。制動力も発生しませんので、フットブレーキで減速してください。

アナログメーター



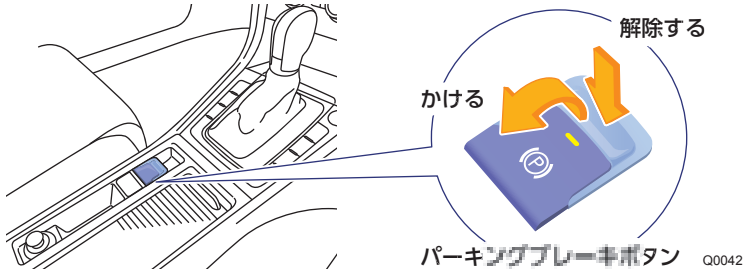
Active Info Display



パーキングブレーキ

エレクトロニックパーキングブレーキ

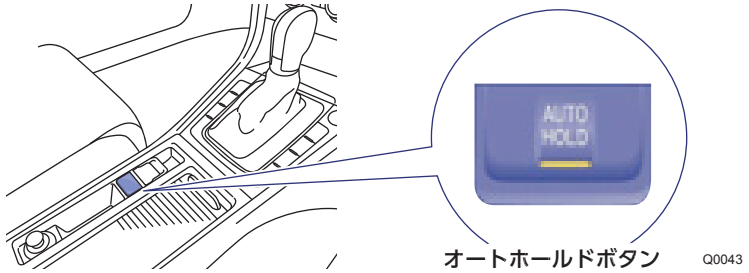
パーキングブレーキをかけるには、ボタンを引きます。
パーキングブレーキを解除するには、イグニッションを ON にしたあと、ブレーキペダルを踏みながらボタンを押します。また、アクセルペダルを踏んで車両を発進させた場合も、パーキングブレーキは自動的に解除されます。



車両が動き出す可能性がある状態で運転席ドアを開けた時など、システムが不適切な駐車状態と判断した場合、パーキングブレーキが自動的に作動します。

オートホールド

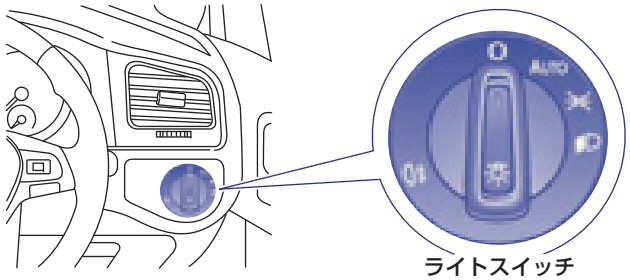
オートホールドを ON にすると、停車後にブレーキペダルを放した時にパーキングブレーキが自動的に作動し、車両を停止状態で保持することができます。



ライト

ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



ライトスイッチ　QM8077

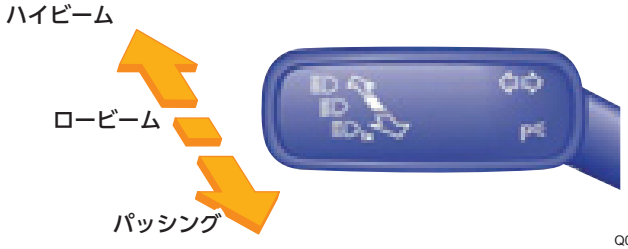
0 ····ヘッドライト消灯

AUTO ····周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯

····スモールライト点灯

····ヘッドライト点灯（ロービーム）

ステアリングホイール左側のレバーを前方に押すとハイビーム、元の位置に戻すとロービームになります。
レバーを手前に引いている間、ハイビームが点灯します。（パッシング）



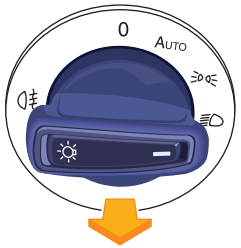
Q0024

ダイナミックライトアシスト

フロントカメラにより対向車のヘッドライトや先行車のテールライトを検出し、ライトの照射角度を自動で調整します。
ダイナミックライトアシスト機能は、ライトスイッチを AUTO 位置に回し、ステアリングホイール左側のレバーを前方に 1 回押すことで作動します。作動中はメーターのディスプレイに が表示されます。
この機能は、インフォテイメントシステムで ON/OFF を切り替えることができます。

リヤフォグランプ

ライトスイッチが AUTO、またはヘッドライト点灯の位置でライトスイッチを手前に引くと、リヤフォグランプを点灯します。



Q0227

方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示器を点滅させます。

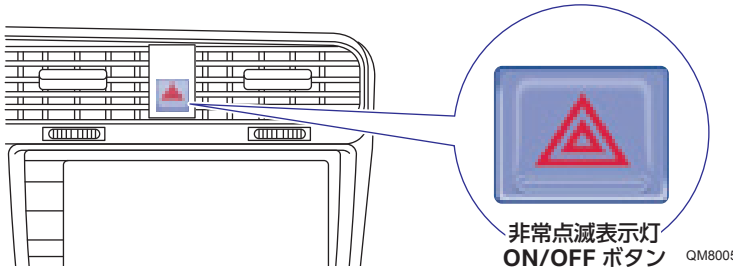
Q0028

車線変更点滅機能

レバーを軽く操作すると、方向指示器が 3 回点滅します。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

非常点滅表示灯

センターコンソールの非常点滅表示灯 ON/OFF ボタンで非常点滅表示灯を点滅します。

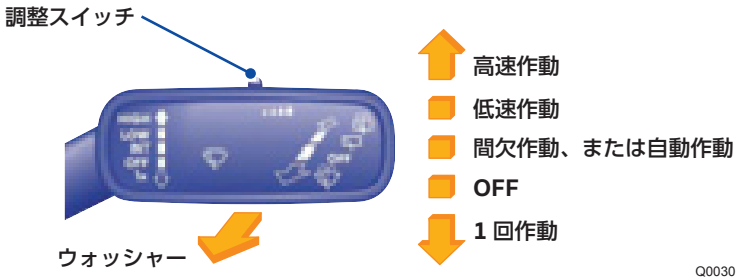


QM8005

ウインドーワイパー、ウォッシャー

フロントワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、フロントワイパー・ウォッシャーを作動します。



Q0030

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。
調整スイッチで、間欠間隔、またはレインセンサーの感度を調整します。
レインセンサー装備車は、インフォテイメントシステムで自動作動の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

リヤワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、リヤワイパー・ウォッシャーを作動します。

Q0031

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。

後退時のリヤワイパー自動作動

フロントワイパーが ON のときにセレクターレバーを“R”にシフトすると、リヤワイパーが自動的に作動します。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

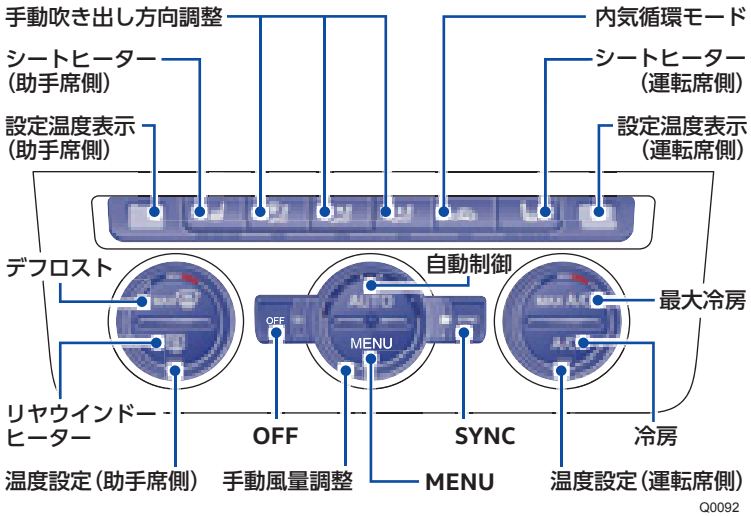
便利な機能

室内装備

フルオートエアコンディショナー

フルオートエアコンディショナーの操作

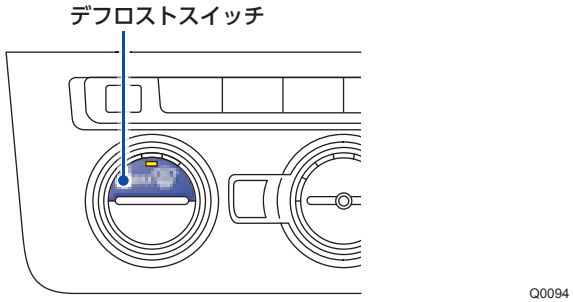
センターコンソールのコントロールパネルで操作します。



- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。
- 自動制御を ON にすると、設定温度に応じて、風量、送風方向を自動的に制御します。手動でこれらを制御すると、自動制御は OFF になります。
- SYNC スイッチを押すと、スイッチの表示灯が点灯して助手席側の設定温度が運転席側と連動します。連動を解除するときは、もう一度 SYNC スイッチを押すか、助手席側の温度設定ダイヤルを回します。
- MENU スイッチを押すと、インフォテイメントシステムでエアコンの設定をすることができます。

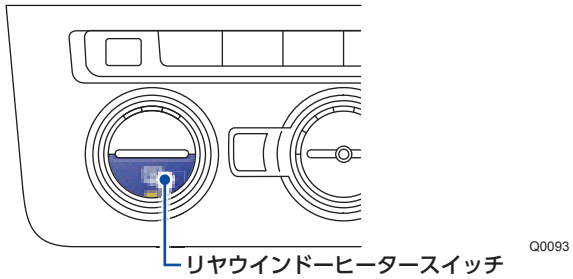
デフロスト機能

フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。
デフロストスイッチを押すとデフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。
デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、吹き出し口が自動的にフロントウインドー側に設定されます。
また、外気温との温度差があるときは、冷房システムが ON になります。



リヤウインドーヒーター

リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。
リヤウインドーヒータースイッチを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。
リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。



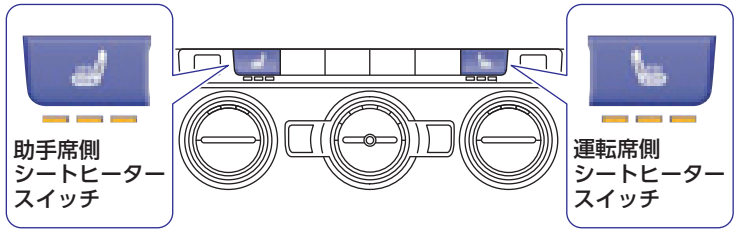
パーキングエアコンディショナー

インフォテイメントシステムや“Volkswagen Car-Net e-Remote”の e マネージャーを使って、運転前にエアコンディショナーを作動させておくことができます。

充電プラグを差し込んでいる状態でパーキングエアコンディショナーを作動させると、外部電源からの電力によりエアコンディショナーを作動させることができます。この場合、高電圧バッテリーの電力は消費しません。
充電プラグを差し込んでいない場合は、高電圧バッテリーの電力によりエアコンディショナーを作動させます。高電圧バッテリーの電力を使ったエアコンディショナーの作動を禁止することもできます。

シートヒーター

センターコンソール上部にあるシートヒータースイッチを押すと、フロントシートのシート座面と背もたれのヒーターが作動します。ヒーターの強さは 3 段階です。スイッチを押すごとに、強（表示灯が 3 つ点灯）⇒中（表示灯が 2 つ点灯）⇒弱（表示灯が 1 つ点灯）⇒ OFF（表示灯が消灯）の順に切り替わります。



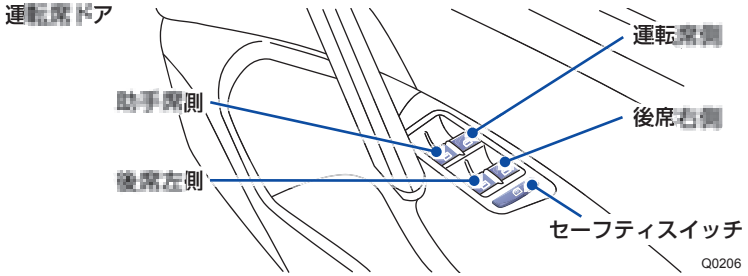
Q0095

下記の状態のときは、シートヒーターを ON にしないでください。
- シートに座っていないとき
- シートにカバーを装着しているとき
- シートにチャイルドシートを装着しているとき
- シート面に湿気がある、または濡れているとき
- 車内温度または外気温度が 25℃以上のとき

便利な機能

パワーウインドー

各ドアにあるパワーウインドースイッチで、ウインドーの開閉を操作します。



セーフティスイッチを押すと、後席ドアのパワーウインドーは作動しなくなります。

アドバイス

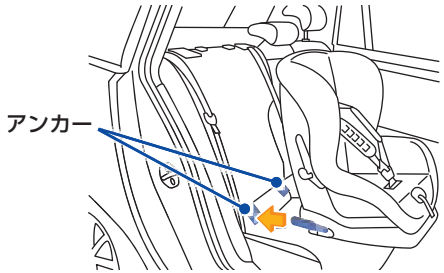
リモコンキーを使って車外から全てのウインドーの開閉を行うことができます。
リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。
全てのウインドーが閉まると、方向指示器が 1 回点滅します。
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

チャイルドシート

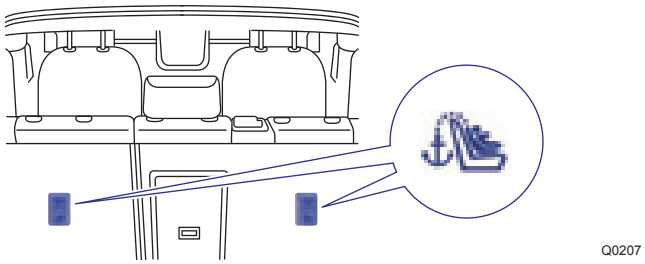
チャイルドシートを取り付ける時は、チャイルドシートの取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

ISOFIX チャイルドシートの取り付け

後部座席には、ISOFIX に対応したチャイルドシートを取り付けることができます。
ISOFIX チャイルドシートのアームを、リヤシート座面後方のアンカーに固定します。



トップテザー固定部は、背もたれの裏側にあります。

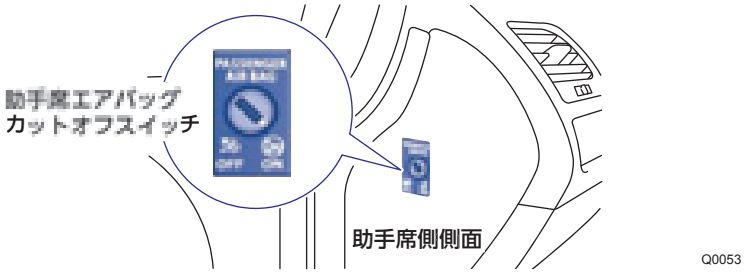


エアバッグ

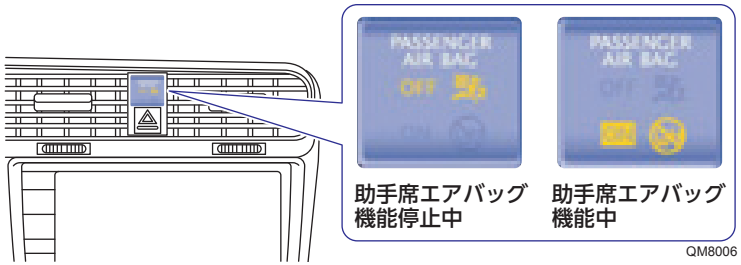
運転席側フロント、運転席足元、助手席側フロント、前席サイド、後席サイド、カーテンエアバッグが装備されています。

助手席側エアバッグの機能停止

後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、機能を停止させてください。
助手席側ドアを開け、側面の助手席エアバッグカットオフスイッチを、キーを使って OFF にすると、助手席側フロントエアバッグの作動を停止することができます。

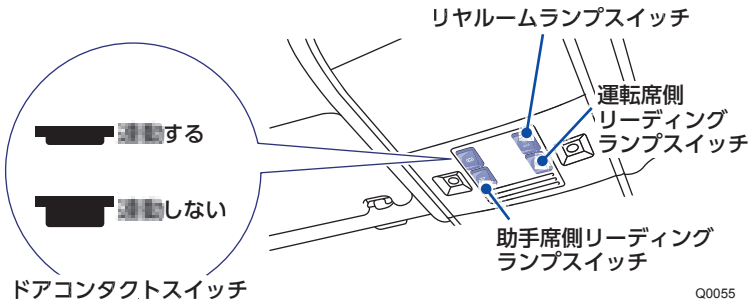


助手席側フロントエアバッグの作動を停止すると、センターコンソール上部の警告灯が切り替わります。



ルームランプ、リーディングランプ

ルームミラーの近くにフロントルームランプ、後席天井にリヤルームランプがあります。
ドアコンタクトスイッチにより、ドアの開閉に連動して自動的に点灯 / 消灯させることができます。

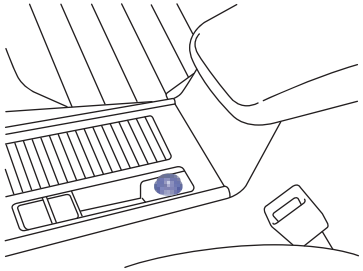


フロントルームランプおよびリヤルームランプの左右は、それぞれ独立したリーディングランプとしても点灯することができます。

12V ソケット

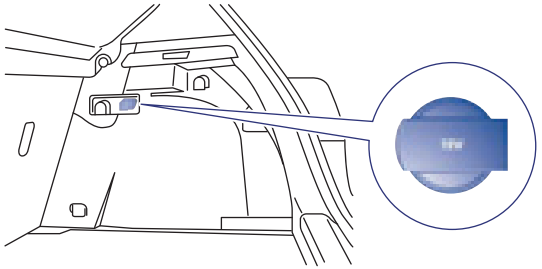
12V ソケットはセンターコンソール下部とラゲージルームにあります。
最大消費電力は 120W です。同時使用時は総消費電力が 190W を超えないようにしてください。

センターコンソール



Q0056

ラゲージルーム



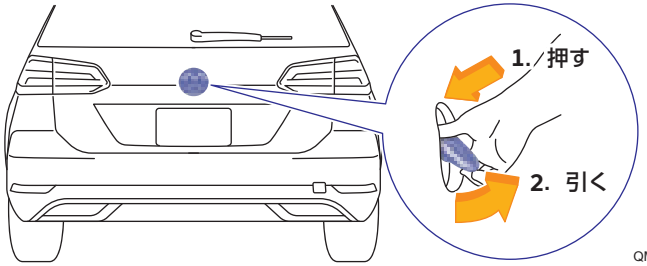
Q0202

荷物の積載

ラゲージルーム

テールゲートを開ける

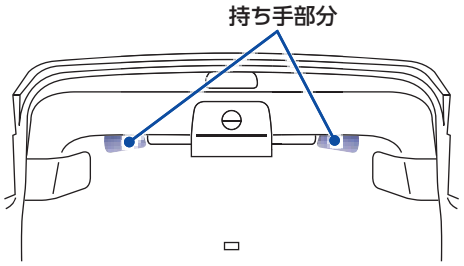
テールゲートオープナー（VW エンブレム）の上部を押して開き、下部を手前に引いてテールゲートを開きます。



QM8009

テールゲートを閉める

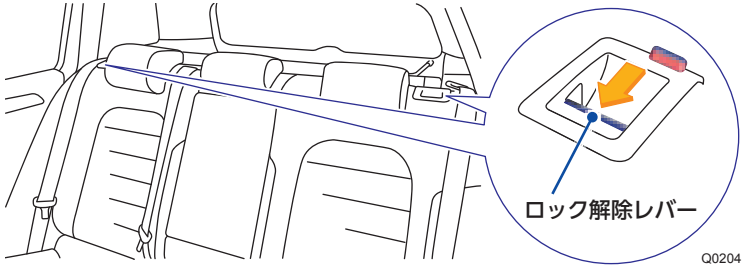
テールゲート内側の持ち手部分を引いて、テールゲートを閉めます。



Q0065

リヤシートの背もたれを倒す

分割可倒式リヤシートの背もたれを倒すことにより、ラゲージルームを広く使うことができます。
背もたれのドア側上部にあるロック解除レバーを引き、背もたれを前方に倒します。



リヤシートの背もたれを戻す

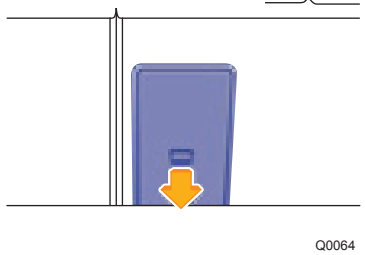
背もたれを元に戻すときは、背もたれを起こし、ロックされるまで後方に押し込みます。
ロックされると、ロック解除レバーが元に戻り、赤い印が見えなくなります。

ロードスルー（トランクスルー）

リヤセンターアームレストの背面を開口して、長い荷物を車内に積載することができます。

車内から開ける

ラゲージルームから開ける



運転支援

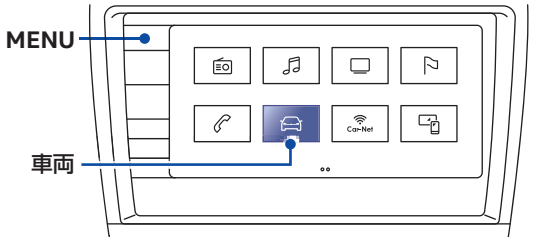
インフォテイメントシステム

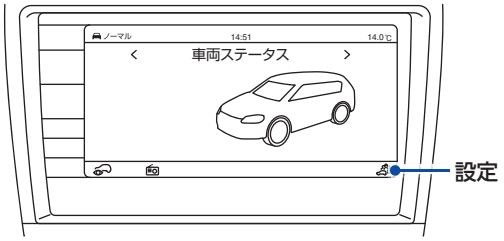
車両設定

タッチパネルディスプレイを使って、車両の様々な機能の設定をすることができます。

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 車両設定画面が表示されるので、各項目を選択し設定します。





車両設定画面では、以下の各種設定を行うことができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
ESC システム	—	• 以下のシステムの ON・OFF を切り替えることができます。 - トラクションコントロールシステム（ASR） - エレクトロニックスタビリティコントロール（ESC）
タイヤ	タイヤ空気圧警告灯	• タイヤモニタリングシステムのリセット操作ができます。
	ウインター タイヤ	• 速度警告の ON・OFF の切り替えおよび速度警告の車速設定をすることができます。
パーソナライズ	—	• パーソナライズの ON・OFF を切り替えることができます。 • 以下の機能の設定をすることができます。 - アカウントの選択やアカウント名の変更など - 手動または自動でのリモコンキーの割り当て - アカウントに記憶させていた設定やリモコンキーの割り当てなどのリセット
ライト	オートライト システム	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - ダイナミックライトアシスト - ダイナミックコーナリングライト - オートライトシステム（雨天時） - 車線変更点滅機能 • 以下の機能を設定することができます。 - オートライトシステムの始動時間 - トラベルモード（右側 / 左側通行）
	ルームランプ	• 以下の機能を設定することができます。 - メーター / スイッチの明るさ
	「カミングホーム / リービングホーム」機能	• 以下の機能を設定することができます。 - カミングホーム機能の作動時間 - リービングホーム機能の作動時間

メニュー	サブメニュー	設定方法
ドライバー アシスト	ACC （アダプティブ クルーズコント ロール）	• 前回選択した設定の適用の ON・OFF を切り替えることができます。 • 以下の機能を設定することができます。 - 車間距離レベル
	Front Assist （プリクラッシュ ブレーキ システム）	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - 接近警報 - 車間距離警告の表示
	Lane Assist （レーンキープ アシスト システム）	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - レーンキープアシスト“Lane Assist” - アダプティブレーンガイド
	ブラインド スポット ディテクション	• ブラインドスポットディテクションの ON・OFF を切り替えることができます。
	疲労検知 システム	ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の ON・OFF を切り替えることができます。
	プロアクティブ・ オキュパント・ プロテクション	プロアクティブオキュパントプロテクションの ON・OFF を切り替えることができます。
Park Assist	リヤトラフィック アラート	• リヤトラフィックアラートの ON・OFF を切り替えることができます。
EV 走行 / 充電	充電値	• 普通充電時の最大充電電流の設定をすることができます。
	e マネージャー の設定	• 以下の機能を設定することができます。 - パーキングエアコンディショナーの車内温度 - バッテリー充電の下限 • 高電圧バッテリーによるエアコン作動の ON/OFF を切り替えることができます。
ミラーおよび ワイパー	ミラー	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - ドアミラーの同期調整 - ドアミラーの後退時位置設定 - 駐車時の格納
	ワイパー	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - 自動ワイパー（雨天時） - 後退時のリヤウインドーワイパー作動
開閉	ウインドー操作	• ウインドーコンビニエンスオープンの設定をすることができます。
	集中ドアロック	• ドア解錠の設定をすることができます。 • 自動施錠の ON・OFF を切り替えることができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
コンビネーションメーター	—	• マルチファンクションインジケーターに表示させる項目を選択することができます。
日付と時間	—	• 時刻や日付などの設定をすることができます。
単位設定	—	• 距離や車速などの単位を設定することができます。
サービス	—	• 以下のデータが表示されます。 - 車体番号 - 次回の点検整備の時期
工場出荷時設定	—	• 以下の設定をリセットすることができます。 - 全ての設定 - パーソナライズ - ライト - ドライバーアシスト - Park Assist - ミラーおよびワイパー - 開閉 - コンビネーションメーター

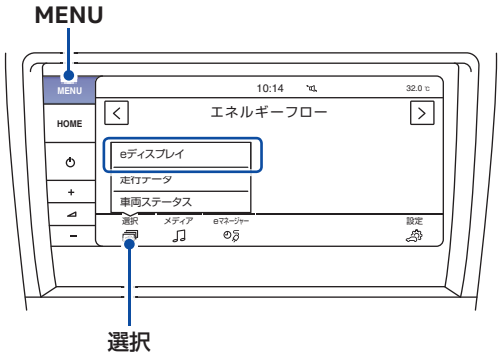
e ディスプレイ

e ディスプレイでは以下を表示することができます。

- エネルギーフロー ……高電圧バッテリーの電力を使って走行しているか、惰性走行中か、エネルギーの回生中かをアニメーションで表示します。
- レンジモニター ……現在の走行状態などに応じた走行可能距離を表示します。エアコンなど使用中の装備を OFF にした場合にどれくらい走行可能距離が延びるかも表示されます。

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「選択」、「e ディスプレイ」を選択します。
4. 「<」または「>」で表示項目を切り替えます。



QM8075

e マネージャー

e マネージャーでは、出発時間を設定することで、それに応じた充電時間、パーキングエアコンディショナーのタイマー設定ができます。

3 つまで時間を設定でき、それぞれ別々の内容を設定できます。
出発時間 1 ～ 3 の設定で、時間、繰り返す曜日、充電地点を設定します。

充電地点の設定で、その出発時間に合わせて
- パーキングエアコンディショナーを設定するか
- 充電をするか

を設定します。

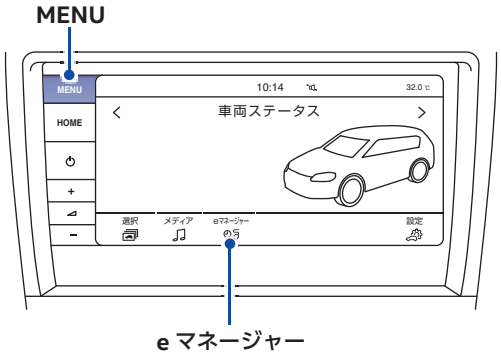
充電をする場合は、さらに、
- 何パーセントまで充電するか
- 充電場所の電流値
- 夜間電力を使用するか
- 夜間電力を使用するのは何時から何時までか

を設定します。

なお、これらの機能は“Volkswagen Car-Net e-Remote”を使って設定することもできます。

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「e マネージャー」を選択します。



QM8076

ドライビングプロファイル

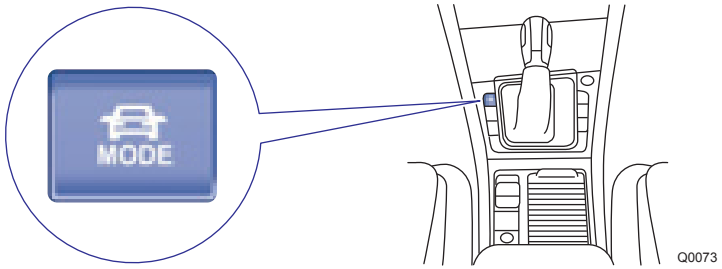
ドライビングプロファイルとは

走行状況などに応じてドライバーのお好みの運転特性を選択することができます。

ドライビングプロファイルの切り替えかた

ドライビングプロファイル機能ボタンを押し、インフォテイメントシステムで希望のドライビングプロファイルを選択します。
インフォテイメントシステムのディスプレイに選択中のドライビングプロファイルが表示されます。
以下の 3 つのドライビングプロファイルが選択できます。

- ノーマル
- エコ
- エコ +



ノーマル

車両の性能を最大限に使用します。

- ドライビングプロファイル切り替え時、コンビネーションメーターのディスプレイに「ノーマル」と表示されます。
- 最高速度は 150km/h です。
- 最大限の加速力を得ることができます。
- フルオートエアコンディショナーは通常作動です。

エコ

電力消費を抑え、航続距離を延ばします。

- ドライビングプロファイル切り替え時、コンビネーションメーターのディスプレイに「エコ」と表示されます。
- 最高速度は 115km/h に制限されます。
- 加速力が制限されます。
- フルオートエアコンディショナーはエコモードでの作動です。

エコ +

電力消費を最小限に抑え、航続距離をさらに延ばします。

- ドライビングプロファイル切り替え時、コンビネーションメーターのディスプレイに「エコ +」と表示されます。
- 最高速度は 90km/h に制限されます。
- 加速力は最低限に制御されます。
- フルオートエアコンディショナーは使用できません。送風およびデフロスト機能のみ使用できます。

ドライビングプロファイルエコまたはエコ + で走行中に、追い越しなどで制限速度以上での走行が必要な場合は、アクセルを最大に踏み込んでキックダウン操作をすると、一時的に制限が解除されます。

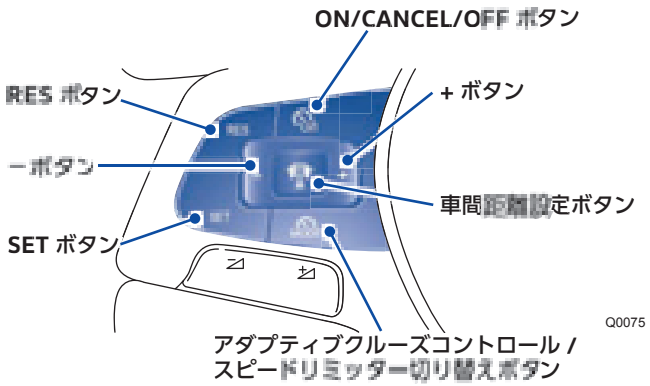
アドバイス

運転状態、空調の要否によって適切なドライビングプロファイルを選択してください。

アダプティブクルーズコントロールシステム“ACC”

レーダーセンサーで先行車との車間距離を測定して一定に維持し、設定した速度を上限に自動で加減速を行います。

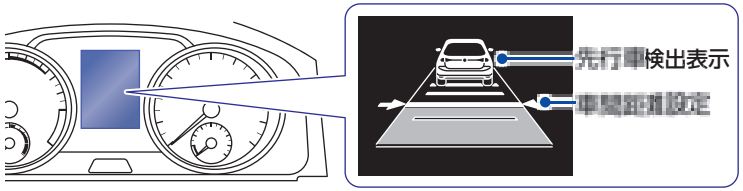
アダプティブクルーズコントロールシステムは、マルチファンクションステアリングホイール左側のボタンで操作します。



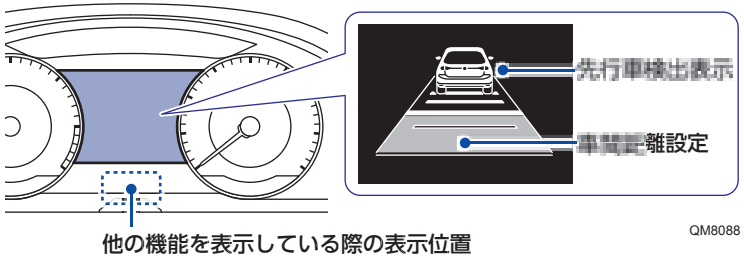
アダプティブクルーズコントロールシステムが作動しているときは、コンビネーションメーターのディスプレイに作動状態が表示されます。

先行車検出表示・・・・先行車を検出しているときに表示します。
車間距離設定・・・・・現在の車間距離設定を表示します。

アナログメーター



Active Info Display



他の機能（ナビゲーションシステム等）を表示させている場合は、ディスプレイ中央下部に小さく表示されます。

アドバイス

- 車間距離設定は、ハイライトの範囲が狭いほど短く、広いほど長くなります。
- Active Info Display の場合、ディスプレイメニューの「表示」から「ドライバーアシストシステム」を選択することにより、左側丸型メーター部に作動状態を表示させることもできます。

操作手順

1. **ON/CANCEL/OFF ボタン を押し、システムを ON（スタンバイ状態※）にします。**

2. **設定したい車速まで加速または減速し、SET ボタンを押します。**

3. **車間距離設定ボタン を押し、車間距離を設定します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。**

システムが作動すると、設定した速度を上限に自動で加減速を行い、先行車を検知すると、設定した車間距離に制御します。

※：システムが ON で、車速の自動制御が行われていない状態です。設定車速や車間距離設定を変更することができます。

設定車速の変えかた

システム作動中は、以下の方法で設定車速を変更することができます。

- RES ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ上がります。
  + ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ上がります。
- SET ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ下がります。
  − ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ下がります。

車間距離設定の変えかた

車間距離設定ボタン を押します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムの一時停止のしかた

以下の方法で、システムを一時停止することができます。システムを一時停止すると、システムの作動は停止しますが設定車速は保存されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン を押すか、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES ボタンを押します。

システムの停止のしかた

以下の方法で、システムを停止することができます。このとき、設定車速も消去されます。

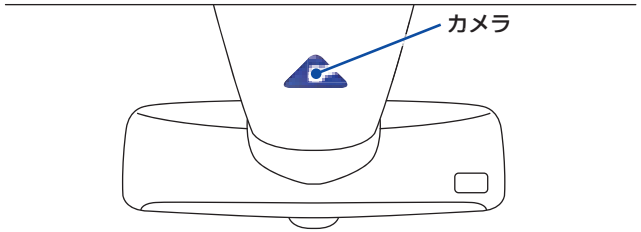
- ON/CANCEL/OFF ボタン を長押しします。
- システムを一時的に OFF にしているときは、ON/CANCEL/OFF ボタン を短く押します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

レーンキープアシストシステム“Lane Assist”

フロントガラス上部に設置されたカメラにより走行中の車線をモニタリングし、運転者が意図しない車線の逸脱を検知すると、自動的にステアリングを補正したり、ステアリングを振動させて注意を促します。

約 65km/h 以上で走行中に作動します。

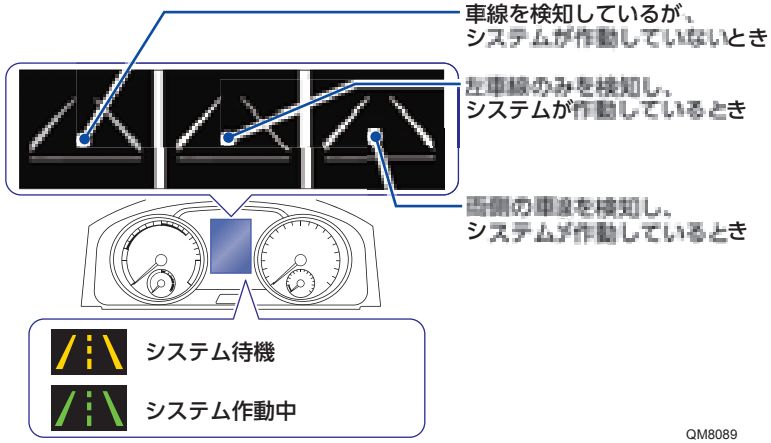


Q0034

コンビネーションメーターのディスプレイおよび表示灯でレーンキープアシストシステム“Lane Assist”の作動状態が表示されます。

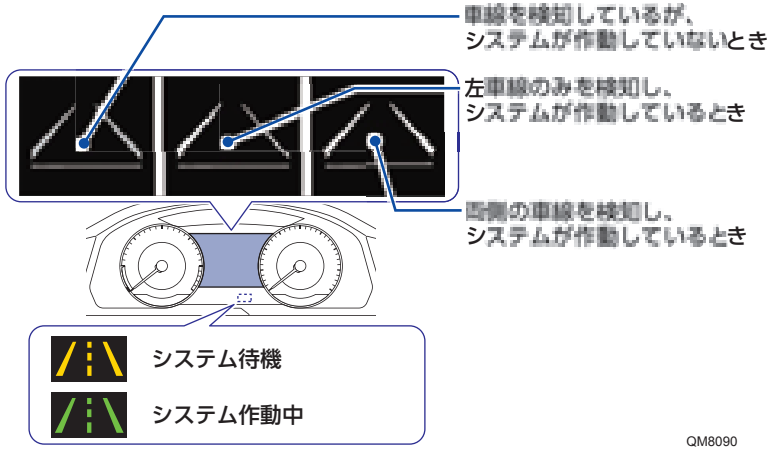
線の色が薄い　　：車線を検知していないとき
線が細く色が濃い：車線を検知しているが、システムが作動していないとき
線が太く色が濃い：車線を検知し、システムが作動しているとき

アナログメーター



QM8089

Active Info Display



QM8090

アドバイス

Active Info Display の場合、ディスプレイメニューの「表示」から「ドライバーアシストシステム」を選択することにより、左側丸型メーター部に作動状態を表示させることもできます。

レーンキープアシスト“Lane Assist”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Lane Assist”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

コンビネーションメーターの表示灯が消灯し、レーンキープアシストシステム“Lane Assist”を OFF にすることができます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”

渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”は、レーンキープアシスト“Lane Assist”とアダプティブクルーズコントロール“ACC”が連動した機能です。渋滞の最後尾など、停止している車両の後ろで停止するまで減速し、先行車の動きを検知して再発進します。

この機能は、以下の条件下において機能します。
- レーンキープアシスト“Lane Assist”がオンになっている
- アダプティブクルーズコントロール“ACC”が作動している
- 車両が左右の車線を検知している
- 車速が 60km/h 以下

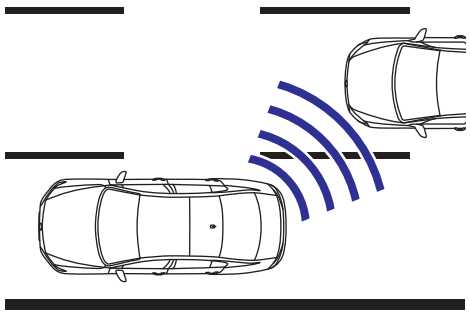
渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Lane Assist”で「アダプティブレーンガイド」のチェックボックス☑を外します。

ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）

ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）は、リヤバンパーの左右に取り付けられたレーダーセンサーで、車両後方をモニターします。車両斜め後ろの死角エリアに車両が走行していることを検知すると、ドアミラー内の警告灯が点灯します。車両が検知された車線側に、ドライバーがウインカーを作動させると警告灯が点滅に切り替わり、ドライバーに注意を促します。この機能は、15km/h 以上で作動します。



QM3038

ブラインドスポットディテクション（後方死角検知機能）の機能停止のしかた

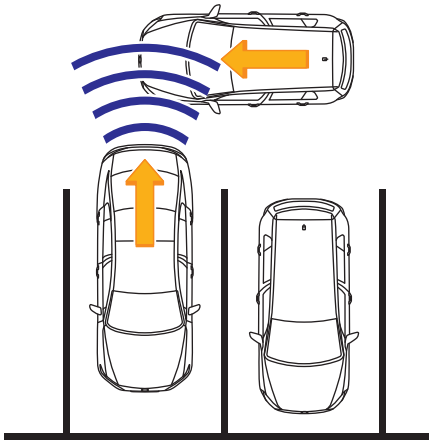
操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“ブラインドスポットディテクション”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）は、リヤバンパーに取り付けられたレーダーセンサーで、後方を横切る車両をモニターし、駐車場から後退で発進する際、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが車両を停止せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にブレーキを作動させます。この機能は、後退時 12km/h 以下で作動します。



QM3039

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「Park Assist」の“リヤトラフィックアラート”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

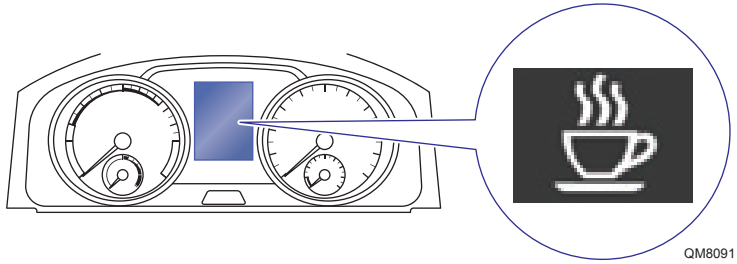
ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”

ドライバーの運転パターンをモニタリングし、疲労や眠気による急なステアリング操作など、通常の運転パターンと異なる動きを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイにメッセージを表示すると同時にブザーで休憩を促します。

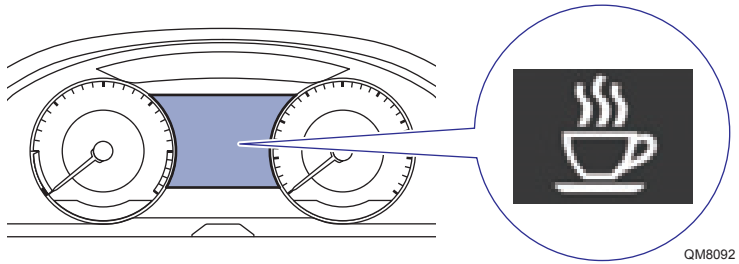
運転パターンのモニタリングは、約 60km/h ～約 200km/h で走行中に行われます。

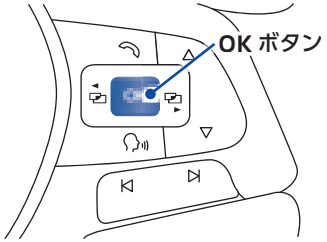
コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、ウインドーワイパーレバーの「OK/RESET」ボタンまたはマルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。

アナログメーター



Active Info Display





ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の疲労検知システムで「作動」のチェックボックスの☑を外します。

ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”を OFF にすることができます。

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”（歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付）

衝突のおそれがあるとき、ドライバーに注意を促したり自動的に減速したりします。
レーダーセンサーで先行車や歩行者を検知し、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。同時に、制動距離を少しでも短くするため、ブレーキ圧を高めスタンバイ状態を保持します。
警告を促してもドライバーが減速せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的に車両を減速させて衝突の被害を軽減します。

シティエマージェンシーブレーキ機能

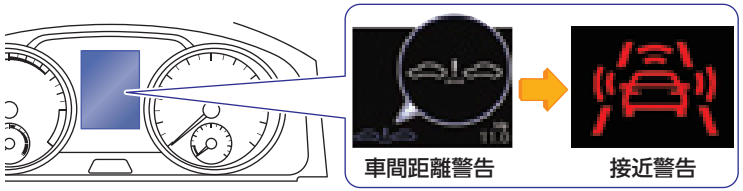
30km/h 未満での走行中にはシティエマージェンシーブレーキ機能が作動し、自動的にブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

歩行者検知システム

65km/h 未満での走行中には歩行者検知システムが作動し、自動的にフルブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

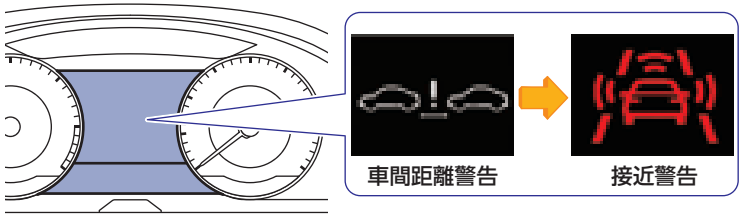
コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、ウインドーワイパーレバーの「OK/RESET」ボタンまたはマルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すとOFF にすることができます。

アナログメーター



QM8093

Active Info Display



QM8094

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Front Assist（プリクラッシュブレーキシステム）”で「作動」、「事前警告」、「車間警告の表示」をそれぞれ OFF にできます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）

タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）には、以下の機能が組み込まれています。

- ABS（アンチロックブレーキングシステム）
  ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
- BAS（ブレーキアシストシステム）
  ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
- ASR（トラクションコントロールシステム）
  発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
- XDS（エレクトロニックディファレンシャルロックシステム）
  直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。
  高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。

ESC/ASR の機能の切り替え

インフォテイメントシステムによる切り替え

操作手順

1. **ディスプレイの「MENU」を選択します。**
2. **ディスプレイの「車両」を選択します。**
3. **ディスプレイの「設定」を選択します。**
4. **「ESC システム」で ESC および ASR の機能の ON/OFF を切り替えることができます。**

プロアクティブ・オキュパント・プロテクション

事故の可能性を予測し、早い段階で乗員保護機能の作動に備えるシステムです。

急制動や極端なオーバーステア / アンダーステアによって発生しうる事故の可能性を検出すると、即座にシートベルトのテンションを高めます。
同時にウインドーを閉じ、万が一の衝突が起きた際、各エアバッグが最大限の効力を発揮できるように備えるシステムです。

動画を再生

プロアクティブ・オキュパント・プロテクションは、約 30km/h 以上で走行中に作動します。

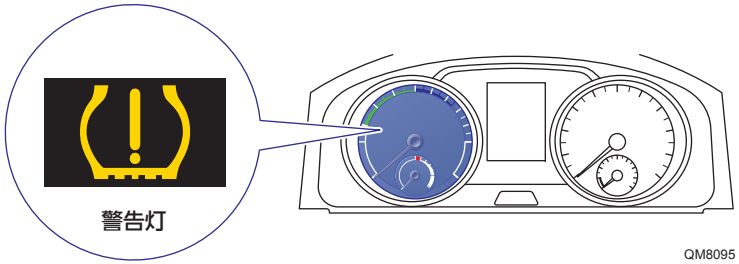
安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

タイヤモニタリングシステム

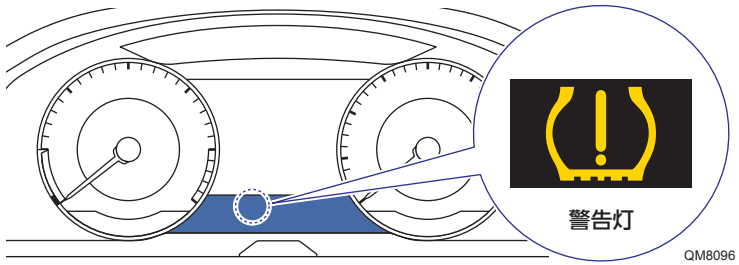
パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4 輪のタイヤ空気圧を点検してください。

アナログメーター



Active Info Display



タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

操作手順

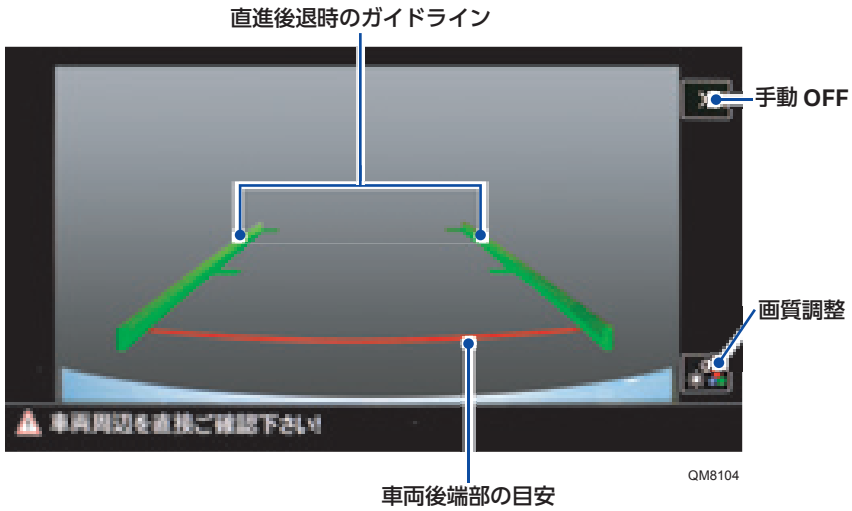
1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「タイヤ」の“タイヤ空気圧警告灯”で「SET」を押します。

現在のタイヤ空気圧を基準値にして、タイヤモニタリングシステムの設定が完了します。

リヤビューカメラ“Rear Assist”

後退時、インフォテイメントシステムのディスプレイに後方の状況を表示して、ドライバーの後方視界を支援します。
カメラはテールゲートのエンブレム内部に格納されています。

セレクターレバーを“R”にすると、自動的にディスプレイに表示されます。
セレクターレバーを“R”以外にすると、表示が消えます。



MEMO

目次へ

フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社に帰属します。
本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan

本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

発　　行：2017年10月
印　　刷：2017年10月
発行番号：181.5J2.5GE.70